

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	室内音響小委員会	主 査 名：石渡智秋 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：秋元 孝之 主 査 名：坂本慎一
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>室内音響学に関する知見や技術を広く一般の建築に供することにより、快適で安全、安心な生活空間の創造を目指す。</p> <p>初年度： ・活動方針、活動内容の決定 ・小委員会とWGの関係の確認 ・各WGの活動方針・活動内容のサポート</p> <p>2年度： ・各WGの活動のサポート ・シンポジウム等、成果の公表の準備</p> <p>3年度： ・活動方針、活動内容の修正や方向性の決定 ・各WGの活動のサポート ・シンポジウム等、成果の公表の準備</p> <p>4年度： ・まとめ</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：石渡智秋(永田音響設計) 幹事：青木亜美 (日建設計)、服部暢彦 (永田音響設計) 委員：李 孝珍(東京大学)、池上 雅之(大林組)、上野佳奈子 (明治大学)、 大久保洋幸 (NHK)、川井 敬二(熊本大学)、佐久間哲哉(東京大学)、 佐藤 史明(千葉工業大学)、清水 寧(Sound/Form Design Lab)、志村留美子(日本設計)、 羽入 敏樹(日本大学)、宮崎 秀生(ヤマハ)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものための音環境 WG：子どものための空間に必要な音環境性能の把握、啓発 ・室内音響啓発コンテンツ企画 WG：音環境向上のため啓発コンテンツ計画 ・吸音設計 AIJES 検討 WG：吸音設計に関する AIJES 作成検討 	
2021 年度予算	75,000 円	ホームページ公開の有無：小委員会からの情報発信として下記がある。 委員会 HP アドレス： https://note.com/oto_arc/ http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/benchmark/index_j.html http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s24/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 活動方針として吸音設計 AIJES 刊行にむけて、小委委員会全体として協力体制をとっていくことを確認した。 2. 啓発コンテンツ企画 WG は、小委員会の設置目的である知見や技術の普及に対し、note を発信媒体とした活動を始め、小委員会はそれに対するサポートを行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 現状の社会状況から、対面での会議が難しいこと。 2. こどものための WG については、現状の社会状況から調査等の活動が難しいこと。

2021 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A B C D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>広く一般空間の室内音環境の向上をめざし、その方策を検討し、またそれを具現化するために WG を設置するなどして活動をすすめている。</p> <p>本年度は、委員会開催回数が減少し、また一部 WG についても、活動が困難な状況があったが、一方で啓発活動を担う“啓発コンテンツ企画 WG”では、インターネットを利用した啓発活動として、note を使用した発信を始めることができた。 https://note.com/oto_arc/</p> <p>吸音設計 AIJES 刊行に向けて推し進めるため、委員会としての全会一致の協力体制をとっていくことも確認しており、最終年度も継続して室内音響環境向上に資する活動を行っていきたいと考える。</p>

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。